

各位

「青少年のための科学の祭典」京都大会
実行委員長 村田隆紀（京都教育大学名誉教授）

第19回「青少年のための科学の祭典」京都大会出展のご案内

21世紀を迎えて今後、自然科学や科学技術、また、地球環境に対する認識の重要性がますます増大していくことが予想されます。「青少年のための科学の祭典」京都大会は、21世紀を担う青少年が実体験を通してその基礎となる自然科学に対する興味と関心を持ち、その芽が根づくような環境をつくることを目的としております。

昨年の第18回「科学の祭典」京都大会は日本科学技術振興財団・科学技術館の支援と企業その他からのご寄付で開催し、京都市青少年科学センターおよび京エコロジーセンターを会場に、2日間で約7,500人の入場者があり、多大の成果を得ることができました。

さて、今年も11月8～9日に京都市青少年科学センターおよび京エコロジーセンターを会場に、下記の主催および後援の予定で開催いたします。21世紀にふさわしい京都を構築し創造していく青少年を育成する取組にご賛同され、出展等ご協力のほどよろしくお願いいたします。

なお、府下や市内の小・中・高・大学の先生や企業関係者・NPOの方々が出展され、様々な楽しい科学の不思議を伝えるブースの設置が見込まれますので、当日の休憩時間などに他のブースを見て出展者と交流するなど、共に楽しんでいただく機会にもなればと存じます。

開催要項

- 1 名称 第19回「青少年のための科学の祭典」京都大会 ～未来をつくる サイエンス&エコ～
- 2 会期 平成26年11月8日（土） 10:00～16:30
9日（日） 10:00～16:00
- 3 会場 京都市青少年科学センター-および京エコロジーセンター(京都市環境保全活動センター)
《京都市伏見区深草池ノ内町13》
- 4 主催 「青少年のための科学の祭典」京都大会 実行委員会
共催 公益財団法人日本科学技術振興財団・科学技術館
青少年と科学の会・(公社)京都工業会内
日本物理教育学会近畿支部
後援 京都市教育委員会・京都市青少年科学センター
京エコロジーセンター(京都市環境保全活動センター)
- 5 内容 (1) 青少年が自然科学や科学技術の原理や不思議を楽しめるような実験・演示・工作
(2) 環境関係のブースを集めたコーナーの設置
- 6 総ブース数 約60ブース(予定)
- 7 出展予定者 京都府・市の小・中・高の教員(科学センター-含む)、大学教員
近畿および全国の関係教員、京都を中心とした企業等
- 8 入場料 無料
- 9 後援 文部科学省、京都府教育委員会、京都理科学研究会、京都市中学校理科研究会
(予定) 京都市高等学校理化研究会、京都市立高等学校生物教育研究会
京都府小学校教育研究会理科部、京都府中学校教育研究会理科部、京都理化学協会
京都府私立中学高等学校理科学研究会、京都府生物教育会、京都地学教育研究会
京都科学機器協会、その他理科関係研究会、学会、報道機関など
- 10 その他 ガイドブック(約100頁,3,300部)を作成し配布する予定

今年も、独立行政法人国立青少年教育振興機構「子どもゆめ基金助成活動」となります。
また、「日本科学技術振興財団」からの補助はありません。

出展申込案内

本年度の大会への出展について、以下をご覧ください。内容をご検討下さい。出展していただける場合は、要項を熟読の上、必要事項を記入し、電子メールの本文（添付ファイル不可）でお申し込み下さい。

1. 展示テーマについて

- ・科学や環境に関する楽しくて興味深い内容、幅広い分野の実験・工作の出展を期待しています。
- ・同じ内容が重なった場合は、調整させていただきます。また、明らかに危険であったり、特別な設営工事が必要な場合はお断りすることがあります。前年とテーマが同じ場合、できるだけ新味を出してください。

2. 出展者への謝礼はありません。（消耗品代の補助はありません）

3. 展示品製作や演示実験に要する備品・器具の購入予算はありません。借用等の工夫をお願いします。

4. ブースやステージに関する消耗品について

- ・来場者が持帰る工作物や展示・演示実験に必要な消耗品代補助として、ブース代表者に一律 15,000 円（2 日分）を祭典当日に講師代名目でお支払いいたします。また、不要なブースも大歓迎です。
- ・必要な消耗品は各自で購入して下さい。また、工作物の準備数量は十分に確保して下さい。

5. 展示・演示場所について

(1) 科学センター会場

屋内 実験棟実験室の実験台(幅 1300×奥行 900mm 水道無)...隣り合わせて 2 台使用

実験棟実験室の実験台(幅 1200×奥行 1100mm 水道有)...水道を挟んで 2 台使用

実験棟実験室の演示教卓(幅が広い)

実験室外横スペースに設置する長机(1800×600mm)... 1 ブース 1～2 台程度

展示場演示実験コーナー、休憩ホール、映写講義室...演示実験、サイエンスショー、講演など

屋外 デッキ(タイル貼り屋外広場) 屋外園

(2) 京エコロジーセンター会場

基本は 1800×600 の長机を 2 台組み合わせて 1800×1200 で使用しますが、詳細は後日相談します

6. できるだけ複数の指導者を確保して、来場者対応や他の出展の参観ができる余裕をとって下さい。

7. 中学・高校のクラブ活動としての参加も歓迎いたしますが、十分なご指導をお願いします。

8. 出展テーマの検討と出展者の決定は、事務局（科学センター）で調整後に実行委員会で行います。

9. 出展決定しましたら、執筆要項を送りますので、出展内容を説明するガイドブックの原稿（B5版、1頁）を 8 月末までに執筆し、ご提出下さい。書式は追って連絡します。

10. 出展者の説明会を 10 月 24 日（金）午後 6 時半から京都市青少年科学センターで行いますので、ご出席下さい。その際、会場の下見も可能です。

・締切日：6 月 30 日（月）

- ・送付先： muyagi@voice.ocn.ne.jp（八木）まで 電子メールで出展を受け付けます。
電子メール本文でのみ受け付けます。（添付ファイル不可）
出展受付後の出展者への連絡は特別な場合を省いてすべて電子メールで行う予定です。
ご不明な点は科学センター（Tel.075-642-1601）八木まで おたずね下さい。

一つの出展者（団体）でブースと演示実験等の両方を行う場合は同じ代表者で構いませんが、必ず別々に出展申込をして下さい。（ガイドブックも別々に掲載されます）

出展申し込み項目

- (1)代表者名(団体名は不可,必ず個人名をお願いします)
 - (2)代表者のE-mail(そのままクリックできるように半角英数字で記載してください)
アドレスが複数ある方は複数記入(半角の「;」で連結)でも構いません。記載アドレス全てにご連絡します。
 - (3)代表者の所属(勤務先名等,学生の場合は「京都教育大学(学生)」のように記載)
 - (4)連絡先をどちらかでお答えください。【自宅,所属先】
 - (5)連絡先郵便番号
 - (6)連絡先住所
 - (7)連絡先電話
 - (8)携帯電話 ないときは必ず「なし」と記載してください。
 - (9)出展タイトル 内容がよくわかるタイトルを考えて下さい。(文学的表現は避けて,最長20文字以内)
 - (10)内容 内容が分かるように100字程度で要約して下さい。
 - (11)参加者が工作物・観察物等を持ち帰れるかどうか2者択一でお答えください。【持ち帰り有,持ち帰り無】
 - (12)出展形式 下の選択肢から最も近いものを選んでアルファベットを記入して下さい。
選択肢 A...ほぼ常時開いている展示・体験ブース
B...ほぼ常時開いている工作ブース
C...時間や人数を決めて行う工作ブース
D...時間を決めて行う演示実験,サイエンスショー(時間は30分~60分で出展決定後に調整)
E...時間を決めて行う科学講演(ほとんど実験を伴わない)
F...その他(アルファベットに続き,具体的にテキストで記入)
- 注)D,Eの実施場所は内容等を考慮し,屋内 ~ 等の場所から,実行委員会で調整させていただきます。
- (13)電気(コンセント)について,2者択一でお答えください。【電気使用,電気使わず】
 - (14)水について,いずれかでお答えください。【流しが必要,水たまりに使用,水使わず】
 - (15)火気についてどちらかでお答えください。【火気使用,火気使わず】
 - (16)火気,危険物,毒物,劇物,薬品等を具体的に記載し,ないときは必ず「なし」と記載して下さい。
 - (17)消耗品代が必要かどうかは2者択一でお答えください。【必要,不要】
 - (18)その他要望や質問等がありましたら記載してください。記載することがない場合は必ず【なし】と記載して下さい。

以上18行(文章量によっては行が増えます)を,テキストと改行のみで作成し,送付してください。番号や余計な記号・文章等は一切記載しないでください。またメールタイトルは必ず「出展申込(氏名)」にして下さい。

【メール本文の記載例】 これ以外の形式の申込は一旦保留とさせていただきます(その旨を返信します)

科学せん太

abc@def.or.jp;aabbcc@ddeeff.ne.jp このように複数アドレスもOK

京都市青少年科学センター

所属先

612-0031

京都市伏見区深草池ノ内町13

075-642-1601

090-1234-5678 ないときは なし と記載

低温の科学

液体窒素を用いた演示実験

持ち帰り無

D

電気使用

水使わず

火気使用

チャッカマン,酸素,二酸化炭素

必要 消耗品代等がいらない場合は 不要 と記載

なし その他要望や質問等がありましたら記載